※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）ニュース探究	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	なし						
副教材等	ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)（毎日新聞出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力（時事力）を養う。経済、政治、暮らし、国際、社会・環境の５つの分野からニュース報道を公正に理解し、歴史の縦軸・世界の横軸の中心に自分を置き、世の中に関心と理解を持って関わっていくことで、課題解決のための思考力を磨く。

２　学習の到達目標

① 社会の諸課題を読み解くために必要な情報を取得する技能を身につける。
② 新聞やニュース報道を読み解き、活用する力を養う。
③ 現代社会の出来事を多面的・公正に理解・判断し、その課題を解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。	現実社会の諸課題について問いを見いだし、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。	よりよい社会の実現を視野に、現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から、それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(後期)	政治	・民主政治 ・日本政治 ・日本国憲法 ・日本外交の現状と課題 ・安全保障 ・地方自治	a：政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 (論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	経済	・景気 ・財政 ・世界経済 ・自由貿易 ・日本産業 ・エネルギー政策	a：雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b：人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。 ｃ：今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 (論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	暮らし	・少子高齢化 ・社会保障 ・働き方改革 ・消費者の権利	a：社会保障の考え方や日本的雇用形態の特徴を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 b：社会保障のあり方や望ましい働き方について、協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ｃ：安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して、社会保障や労働についての課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 (論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	社会・環境	・共生社会 ・司法 ・情報社会 ・いのちと科学 ・豪雨被害、震災 ・地球環境	a：多様な立場や生き方を知り、公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 b：多様性が求められる現代に、差別に対する課題を見出し、環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し、それらを適切に表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、多様性を認め合う社会の実現に向けた諸施策など学習したことを、社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 (論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	国際	・米中露関係 ・中東関係 ・核なき世界 ・平和な世界へ	a：国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b：安保理改革の必要性について、大国一致の原則や拒否権の行使の観点から協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 (論述) ワークシート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度